

<国>
第4期教育振興基本計画
5つの基本的な方針
<山形県>
第7次教育振興計画
人間力に満ちあふれ
山形の未来をひらく人づくり
・「いのち」をつなぐ人
・学びを生かす人
・地域をつくる人
<置賜教育事務所>
誰一人取り残さない教育の実現

教育理念

耕・結・愛
向上 連携 共生

<高島町>
・高島町教育目標
～自他のいのちを尊重し、温かい心で共生社会をつくる人間の育成～
・高島町学校教育の目標
1 「自ら学ぶ力」を育む
2 「豊かな心」を育む
3 「健やかな心身」を育む
4 「しなやかな社会力」を育む
・高島町町民憲章
・幼保少中連携でめざす子ども像
あいさつ・読書・勤労

令和7年度 高島中スローガン

聴・話（調和）

～聴く意識・力を高め、かつ対話力や発信力のある魅力的な人間を目指して～

めざす生徒像

- 自己実現に向け（耕）**
・自ら考え、学ぶ生徒 ・目標に向け努力できる生徒
・粘り強く、挫けない生徒 ・心身共に健康な生徒
- 繋がり（結）**
・自分の世界を広げ、かつカタチにできる生徒
・共生を大事にできる生徒 ・地域を大事にできる生徒
- 大切な仲間や自分への想い（利他&愛）**
・素直さと温かい心を持ち、かつ周囲からも愛される生徒

めざす教師像

- 生徒の自己実現に向け（耕）**
・傾聴できる教師 ・学ぶ教師 ・伴走できる教師 ・律する教師
- 繋がり（結） ・よきお手本となる教師**
・コミュニケーションを大事にできる教師 ・生徒の声や想いをつなぐ教師 ・自分の住む地域も大事にできる教師
- 大切な生徒や仲間、また自分への想い（利他&愛）**
・何があっても見守る教師 ・前向きな想いを語る教師
・変化を見逃さない教師 ・ライフスタイルを大事にできる教師

経営の方針

- 育みたい力**
(1) 自分で考え、決断し、実践する力
(2) 主体的に学習に取り組む力
(3) 自他の良さを認め、命と心を大切にする力
- 方針**
(1) 「自分で考え、選び、行動する力」を育むために
① 日常的対話をとおして、「今の自分」と「こうありたい自分」の意識化
② 「指示」から「問う」言葉がけの徹底
「どうしたの?」「どうしたいの?」「どうしてほしい?」の言葉がけを基本に日々生徒と向き合う。
③ 「傾聴」「対話」の姿勢を貫き、複数の選択肢を提示した上で、「選択」と「自己決定」ができるようにし、自己実現に向けて、ともに歩む姿勢で見守る。
(2) 「学習に主体的に取り組む力」を育むために
① 興味関心を高め、教科の面白さや、他教科との関連に気付かせる授業づくりを展開する。
② 教科の本質を大事にし、教えすぎず、気づかせる（築かせる）指導法に磨きをかける。
③ 「わかった」「できた」の達成感と、終末の振り返りを大切に、今後の意欲につながるサイクルを構築する。
(3) 「自他の良さを認め、命と心を大切にする力」を育むために
① 良さを発見、共有、発信し、学校全体の自己肯定感を高めていく。
② 外部人材を活用し、人間として、また社会人としての視野を広げていく。
③ 様々な課題を「成長の機会」ととらえ、組織対応で、当事者の納得感を生まれる指導・支援 を展開する。

R7年度の重点

高島中指導&支援 = ～傾聴と機能～
◎傾聴(まずじっくり聴くこと)
◎機能(自己存在感・共感的人間関係・自己決定・安心安全)

重点		具体策
生徒指導	規範意識・自浄力の醸成	・相手を想い（多様性も含み）、相互に心地よい学校生活を送ることができる力を育む。 ・登下校を含め、校外における生活について見直し、修正できる力を育む。
	教育相談的生徒指導の更なる充実	・生徒と向き合う基本姿勢を「傾聴」「対話」とし、かつ自分の想いを発信できる力を育む。 ・教育相談員、スクールカウンセラー、養護教諭との連携を密にし、多面的な生徒理解を図るとともに、コンサルテーションの場を確実に持つことで、職員の教育相談力、特別支援教育力の向上を図る。
	地域を創る生徒活動	・地域の事業や活動への自主的な参加を奨励し、地域人としての自覚を醸成する。 ・地域人としての活動を大いに認め、生徒の自己有用感や肯定感を高める。
学習指導	基礎基本の定着のための楽習施策	・教え合い（愛）学び合い（愛）をとおして、「楽しく」学ぶ期間を設定し、基礎基本の定着を図る。 ・様々な学習や体験などとおし、生徒の特性を見極め、伸張を図る。
	キャリア教育を軸とした進路指導の充実	・ドリームマップづくりや職業講話、WakuWaku ワーク等の取組を系統的に実施し進路意識を高める。さらに3生徒一人ひとりの第1希望実現を果たしていくために、情報共有や丁寧な指導支援を大事にする。
連携等	自己管理能力の向上	・他者との関わりが自分の向上に結びつくことを気づかせるために、家庭や地域との連携を強化する。 ・SNS等の諸課題の未然防止や解決を図るために、校内での指導を含め、外部講師も活用しながら進める。また諸問題発生時には解決に向け、外部機関とも連携を密に行う。
	適切な情報発信・共有の場の設定	・学校HPやブログの更新、学校だよりの発行、フリー参観日の設定、学校評価アンケートをとおして、家庭や地域に対し適切に情報発信をおこなうとともに、意見や要望を反映した経営改善を推進していく。
	安全管理面の徹底	・猛暑や豪雨雷雨、感染症等、生徒の安心・安全を中心に据え、判断する。